

瀬戸市では、トライアングルプランⅢ

(瀬戸市女性活躍推進計画・第3次瀬戸市男女共同参画プラン)に基づき、「性別に関わらず個人の能力が発揮できる多様性のある社会の実現」を目指して取り組んでいます。令和2年度に実施した事業の一部をご紹介します。

瀬戸市男女共同参画情報誌

WINDY

2021.3
vol.21

瀬戸市では、10月を男女共同参画推進月間としています。今年度は庁舎にて、啓発パネル展示をしました。テーマは「どれだけ増える？ 育メン・介護メン」。

男性の育児休業取得率や介護離職者数などをクイズ形式にしたパネルでした。なお、国は男性の育児休業取得率を令和7年までに30%とすることを目標としています。

男女共同参画推進月間



パープルリボン

内閣府では、「女性に対する暴力をなくす運動」期間(11月12日〜25日)に、女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボンにちなんで、全国のタワーやランドマークなどを紫色にライトアップする、パープル・ライトアップを実施しています。

瀬戸市においては同時期にツリーを飾り、この運動に賛同いただける方にパープルのリボンをツリーに飾りつけていただく取り組みをしたところ、ツリーはパープルリボンで埋め尽くされました。

今回は、女性が活躍中の「防災ままのわ瀬戸」の会長 浅野由利子 さんにお話を伺いました



■ 立ち上げのきっかけを教えてください。
「ままのわフェスタ」というイベントの実行委員になったことがきっかけでした。「ままのわフェスタ」とは、瀬戸市内の子育てママが中心となって企画運営をする、子育て世代に向けた家族で楽しめるイベントです。そこで一緒に取り組んだメンバーと何度か会っているうちに、「このイベントだけで終わってしまうのはもったいないね」という声が出て、「防災ままのわ瀬戸」が立ち上がりました。

■ 初めから防災のことをやるつもりというわけではなかったですね。
そうですね。何をやるのか検討していく中で、若い世代に視点をあてて防災に取り組んでいる団体がないことがわかりました。フェスタ実行委員のメンバーは小さい子どもをもつママたちだったこともあり、乳幼児ママ向けの防災啓発活動を行っていくことになりました。

■ 活動を行っていく中で、困ったことはありませんか？
メンバー全員が災害を経験していないことです。他地域から講師を呼んで講義を受けたり、市の防災塾に参加したり、本を読んだり…。情報収集から始めました。

■ どんな時にやりがいを感じますか？
他団体や行政、他地域等との繋がりが広がっていくことです。最近、他市から講座の依頼や、防災についてアドバイスが欲しいといった話をいただきました。防災に興味を持ってくれる人が増えてくれるので嬉しいです。また、活動にあたり、周りの方々が親身になって助けてくれるので、繋がり大切さやありがたさを実感しています。

私個人としては、人前で話をするのがとても苦手だったので、講座や講演に呼んでいただいて、不器用ながらも話すことで、少しずつ慣れてきました。私自身も成長させてもらえることにやりがいを感じています。

防災ままのわ瀬戸



瀬戸市の現役ママ達が乳幼児を持つママ向け、親子向けへの防災啓発活動をしています

■ ママたちが中心となって活動をされていますが、男性に視点をあてて取り組んでいることはありませんか？
■ 一昨年、乳幼児とママしか家にいないときに災害が起こった...という場面を想定して「ママのための防災ハンドブック」を作成しました。パパも一緒に読んで、協力して取り組んでほしいなと思っています。また、パパも一緒になって参加してもらえるような講座も、今後は開催していきたいです。

■ これからも様々な活動を検討されているのですか。常にメンバーの方たち全員が参加しているのですか？
■ 立ち上げ当初は仕事をしていなかったメンバーも、今ではほとんどの人が働き始めました。なので、この活動が重荷にならないように、できる人ができる範囲でやる！ということをお大切にしています。「場所と時間に縛られない、パソコンに関することはやらせて！」「自分の資格を活かして、こんな講座をやってみよう！」と、できる役割を担ってもらっています。

■ まさにライフ・ワーク・バランスですね。
メンバーの皆は、自分から何かしたい、社会復帰したときに役に立ちたい、という強い想いを持っています。そんな想いのある「ままのわ」を、次の世代につながるようにしていきたいです。



月に1回ミーティングを行っています



救命講習の様子

メンバー募集中！

一緒に活動していただけるメンバーを募集しています！もちろん能力・経験不問です。お気軽にご連絡ください！
アドレス：boumamaseto@gmail.com



Facebook

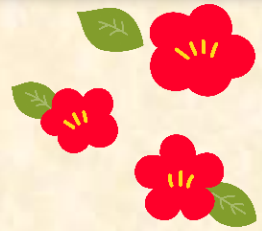


Instagram

Facebook や Instagram も やっています♪




R1 に作成。お子さんが生まれた世帯へ配布しています。



令和二年度 瀬戸市男女共同参画
推進川柳コンクール入賞作品


性別に関わりなく、だれもが自分らしくいきいきと活躍している社会をイメージできる、男女共同参画をテーマとする川柳を募集したところ、たくさんの個性あふれる作品をご応募いただきました！
厳正なる審査のうえ選出されました入賞作品をご紹介します。

 小中学生の部 最優秀賞

かかせない 明るい社会に

誰ひとり

水野中学校一年 百田 拓史 さん


 一般の部 最優秀賞

あたりまえ みとめあいと

ささえあい

部坂 菜津子 さん

小中学生の部

 優秀賞 広げよう 男女問わない 選択肢 水野中学校3年 飯田陽向さん

佳作 男女なく 一人一人が 主人公 幡山東小学校6年 田伏葵衣さん


佳作 お互いの 個性を認め 生きていく 品野中学校2年 海藤愛里さん

佳作 とうちゃんも エプロンすがた よくにあう 長根小学校1年 松浦晃政さん

佳作 せいべつは かんけないよ たすけあい 幡山西小学校5年 與語理仁さん

佳作 1人より みんなでやれば ちょう時短 水南小学校5年 森響希さん

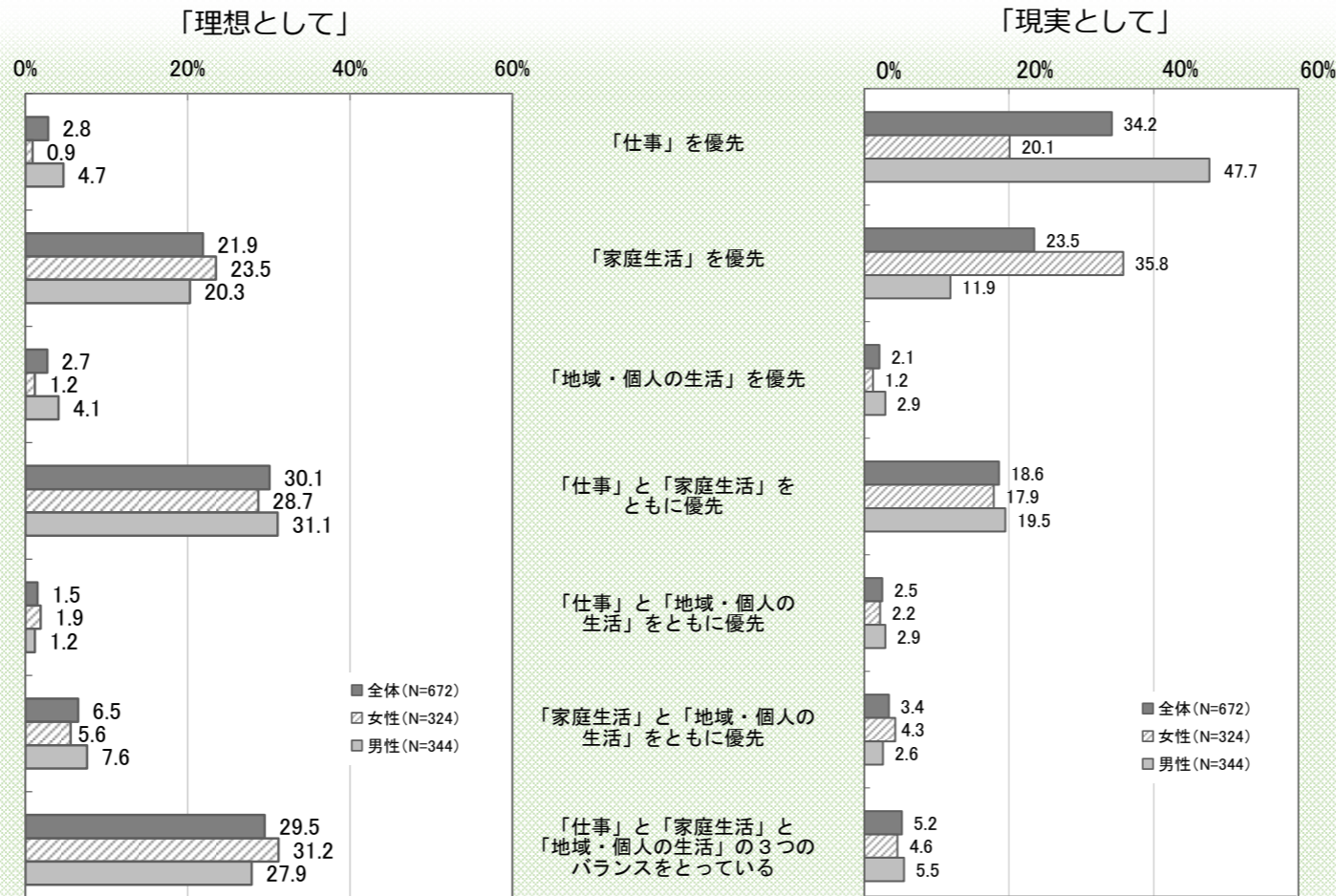
一般の部

 優秀賞 認め合い 高め合うのが 良い社会 後藤誠さん

佳作 差別なし 笑顔あふれる いい職場 鍋嶋洋行さん

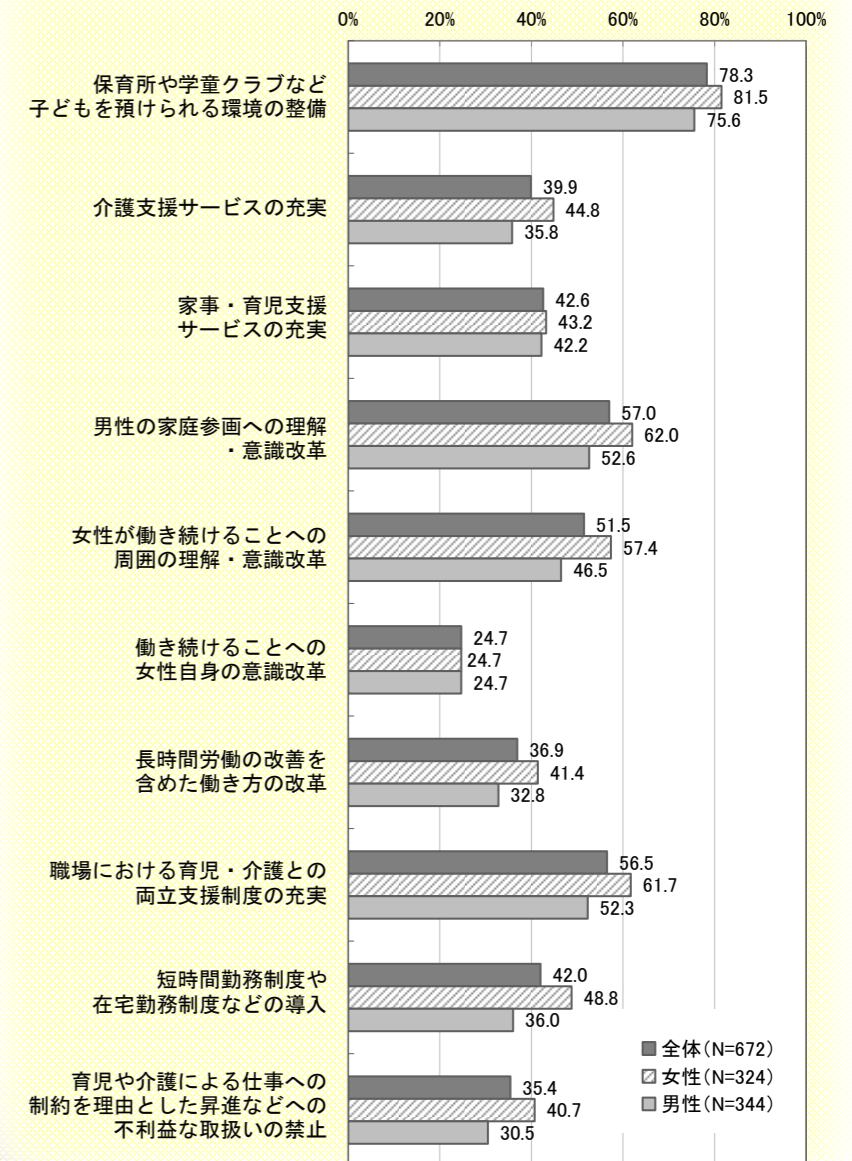
トライアングルプランⅣ 策定において アンケート調査を 行いました！

ライフ・ワーク・バランス について



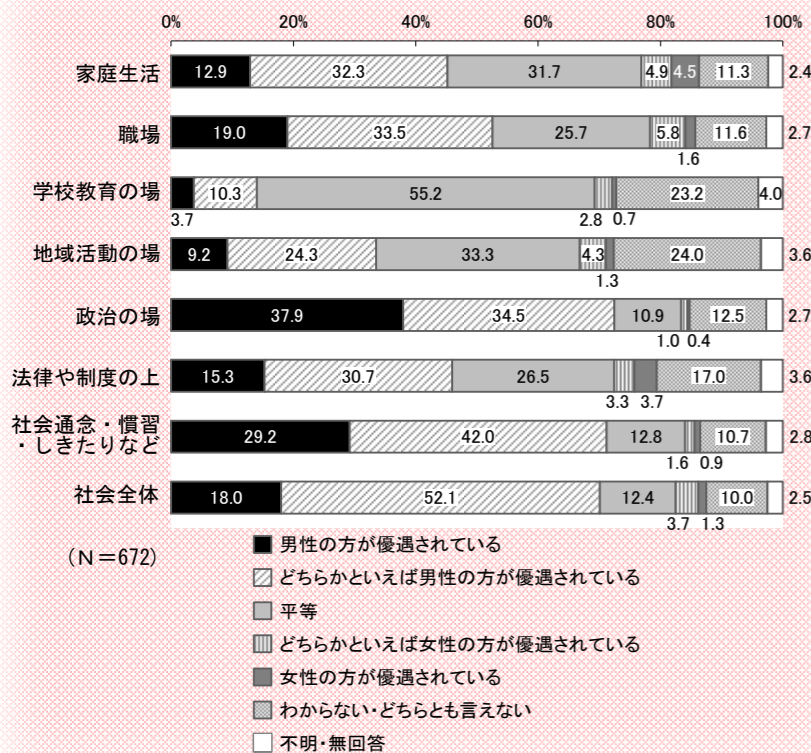
女性の活躍について

「女性が出産後なども離職せずに働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思いませんか？」



男女平等について

「男女の地位は平等になっていると思いますか？」



自由意見

男女共同参画の取り組みについて

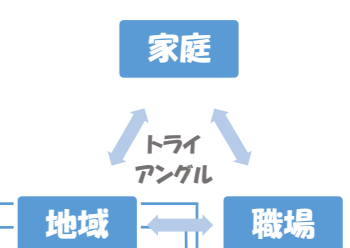
SDGsでも日本はジェンダーについてランクが低い。性差によって起きる避けられない違い(出産など)を考慮した社会をつくっていく事が大切だと思う。

北欧等の先進事例を再確認し、クオータ制の導入や企業(地元)への働きかけが、スピードアップのポイントだと思う。また、子育て支援等の社会的構造改革をしない限りは、実現は難しいかも。さらに瀬戸市としての先進的モデルケース導入を、いくつかの分野で取り入れる事が良いと思う。

男女の平等感や結婚観・家庭観について

男女平等は現在の社会では難しいと思う。男性に向いている仕事、女性に向いている仕事があり、どちらも重要である。男女共に全く同じような仕事内容で同じような勤務体制は無理だと思う。それを踏まえて、別のメリット、デメリットを考えた上での平等性をいかにして見出すかだと思う。

いまだに女性が家事をする事が当たり前のままだとよく感じる。夫婦共働きの場合は特に、子育て支援のサポートがもっと充実していたら良い。



トライアングルプランとは…
瀬戸市では、性別に関わりなく個人が能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、「男女共同参画プラン(トライアングルプラン)」を策定しています。
R3年度は次期プランの策定期間となるため、アンケート調査を実施しました。その結果を一部抜粋してご紹介します。